

人格こそ価値がある

良い人格は、金や銀よりもっと価値のある資本です。誠実さ、堅固さ、そして忍耐こそ、わたしたちがみな熱心に養い育てねばならない特質です。なぜなら、こういったものを身につけてこそ、わたしたちは、何ものにも打ち負かされない力を持つことができ、力強く善をなし、悪を退け、そして逆境に耐えることができるからです。

人格の二大要素

人格の持つ力には二つの要素があります。意志の力と自制の力です。多くの青年たちは、抑制されない激しい感情を、人格の強さだと勘違いしています。しかし実際には、感情によって支配される人は弱い人なのです。人間の真の偉大さや気高さは、自分を支配する感情の力によってではなく、自分の感情を押さえる力によって測られます。最も強い人とは、間違っただけに敏感でありながらも、怒りを押さえて敵を許す人です。



一生の仕事

人格の形成は一生の仕事です。それは永遠に備えるためのものです。現世と来世における運命は実にこの人格によって決定されるのです。利己心、自分を愛する心、自負心、放縦は、繁殖を続けているうちに、ついには、不幸と破滅を招くのです。愛と同情と親切は、祝福という実を結び、それは滅びることのない収穫となります。もし、わたしたちがみなこのことを自覚するなら、どんなにか大きな変化が起きることでしょう。この恵みの期間はどんなにか違ったものになることでしょう。

来るべき世界へ

神のかたちにかたどって形成された人格は、この世から来たるべき世界に持って行ける唯一の宝であります。この世で、キリストの教えを受けたものは、その身につけた神の性質を全部天の住居に持っていくのです。

測りしれない善への感化

人間にゆだねられた仕事の中で、人格の形成ほど大切な仕事はありません。子供たちは、教育されるだけでなく、訓練される必要があります。育っていく子供の将来がどのようなものか、だれも知りません。真理の原則によって正しくしつけられ、神を愛しおそれる精神が人格に織りこまれている子供が、一人いたならば、測りしれないほどの善への感化を世に及ぼすのです。

考えてみよう！



なぜ、人格を育てることがそれほど大切なのですか。子供の人格形成のために、親として何ができますか。

まとめ

人格はこの世の生活において大切な資質であるだけでなく、天に唯一持っていくことができる宝物です。子育ては、子どもだけでなく親自身の人格形成にとっても良い機会となります。